



南明人氏



福地 真氏

(全中建、岡本弘会長)は8日、宮城県仙台市の江陽グランドホテルで通常総会を開き、公共工事の中小建設業者の受注確保対策や入札制度の合理化および契約の適正化対策などを柱とする新年度事業計画を決めた。また、全中建会長表彰として、業界発展への功労者など47人を表彰。本県関係で

全中建総会で功労者表彰
本県 南、福地両氏

「苦しい時代だからこそ、全中建の地域のリーダーとしての役割は大きくなれる」と述べた。

今後の取り組みについては、「中小建設業者の受

自指し、中小建設業者の受注確保や若手経営者の育成などに取り組むこととしている。なお、役員人事では渡辺忠司氏（東京）が副会長に新任した。

具体的な施策は、▽中
小建設業者公共工事受注確
保対策▽建設産業施設に
関する対応策の推進▽
入札制度の合理化と契約
の適正化対策▽品質確保
と積算適正化対策▽建設
労働資材対策▽建設工事
安全衛生対策▽中小建設業
者の組織強化対策と若
手経営者の育成－など。

あす、
ブリ
顧客

けを呼び掛けている。
講師は、久永忠範氏
(有)フォーエバー・ラーニングシステムが務める。
セミナーでは、ホームページやブログの基本的な

・1319 FAX211-
0-10000 E-mail:
kigyo@city.kagoshima.jp
p) ㈱

県空調衛生工事業協会（稻留澄男会長）は7月21日午後4時30分から、鹿児島市のホテルレクスで、トン鹿児島で18年度通常総会を開く。

**書面審査に加え、
事後検査も強化**

経審のうち財務諸表の内容について評点を算出する経営状況分析については、現在、国土交通大臣が登録した登録経営状況分析機関（登録機関）が実施している。登録機関では経営状況分析の審査の際に、疑義チェックとして財務諸表の各勘定科目に論理的矛盾や統計的異常値が見られる業者をシステムで抽出し、確認書類を追加して提出するよう求めている。

今回、より効果的に虚偽を発見できるよう疑義チェックの抽出基準と確

抽出基準（いざれも対象は建設業者）の概要は

①経常収支比率チェック（前期） 当期の経常収支比率がいずれも100%未満で、当期経常利益がゼロ以上） ②総資本回転率 総資本回転率の経年変化が異常に大きい） ③未完工事業支出金月商倍率（未完工事支出金が月商と比べて異常に多い） ④特別損失チェック（特別損失が売上高と比べて異常に多い）

登録機関の守秘義務の対象を改めた。

国交省　国土交通省は20日、経営事項審査の虚偽道府県に通知した。対策は①登録経営状況分析機関の疑義チエックの抽出基準と確認方法の見直し②審査行政庁による事後検査の強化ーの2点。国交省では「ペーパーでの審査に加え、(経審)の結果が出た後も追加的な審査が必要と考えられる業者に対しては、内容が正しいかどうかを厳正に追求していく」と話している。

検査も強化する。
疑義チェック基準に該
当した業者のうち、立ち
入り・呼び出しなどの手
段による事後検査が必要
と思われる業者情報を
国交省で集約・管理し、
各審査行政厅に提供。壳

グリーン購入法に基づく 設業者が厳正に経審を用いて 追加提案募集案

國のため「制度設計の見 く特定調達品目

特定調達品目は、グリーン購入法に基づき、各省庁の「調達方針」で環境負荷低減効果がある製品を指定し、国の調達の際に使用・導入を義務付

提出資料の様式は、環境省のホームページ（<http://www.env.go.jp/policy/hozan/green/g-law/index.html>）などに入手可能。

経審の虚偽申請防止対策を通知

業) や会計監査人設置会社などは基本的に対象外。

活用してもらおう。
さらに国交省では、虚偽申請の抜本的な防止を
認会計士など)
ついても今後検討していくとしている

しており、毎年追加品目などの提案を受け付けている。

九州7県の建設情報をネットワークで結ぶウェブ九州誕生!!

◆Web九州 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島の九州7地区の情報を網羅する入札情報配信サービス

◆Web福岡 福岡県内の国・県・市町村の建設関連の情報を網羅する建設ネット

無料体験キャンペーン実施中!! kyusyu@web-kyusyu.com

〒812-0017 福岡市博多区美野島3丁目13-2
TEL 092(414)0160・FAX 092(414)0169
URL <http://www.web-kyusyu.com>